

科目名	担当者名	配当	期	単位
刑法Ⅲ	對馬 直紀・臼木 豊	1 必	後期	2

■講義内容■

法学未修者対象、1年次後期開講の刑法の基本科目である。すでに1年次前期において刑法Ⅰ（刑法各論）、刑法Ⅱ（刑法総論）を学修済みであることを前提として、それらでは時間的制約などのため扱いきれなかった部分を、補足するための科目である。

■シラバス■

<科目のねらい>

1年次生諸君は、1年次前期において刑法Ⅰ（刑法各論）、刑法Ⅱ（刑法総論）を学修し、刑法総論・各論につき、そのいちおうの基本的部分を学習する。だが、刑法総論・各論とも、扱う範囲は広大であって、少ない授業回数の中で、やむなく割愛せざるをえない領域も数多くある。本科目は、そのように、重要でありながらも刑法Ⅰ・Ⅱにおいて扱いきれない事柄につき、法学未修者を対象にさらに基本知識・理解を促進させるため、それぞれの担当教員が、必要分野の補充をするためのものである。

講義の方式・内容は、刑法Ⅰ（各論）・刑法Ⅱ（総論）と基本的に同様である。教員が基本的な解説をしたうえで、重要な事項についてはあらかじめ関連判例・文献の告知や資料の配付をしておき、受講者による十分な予習を前提に、随時問答や討論をおこなう。このようにして、受講者の主体的参加を促し、効率的な学習を図り、刑法的思考方法や積極的・論理的思考力を養う講義としたい。

<科目の内容>

第1回 未遂犯（1）未遂犯の意義、実行の着手、不能犯

未遂の概念・類型を概説する。次に、判例事案を素材にしなが、未遂犯の成立時期すなわち「実行の着手」につき考察し、さらに、「危険」判断を踏まえつつ、不能犯につき検討する。

第2回 未遂犯（2）中止犯

中止未遂につき、法的性質・必要的減免根拠を概説する。次に、中止未遂の個別的要件につき考察する。とくに、最も判断が難しい「任意性」につき、判例事案を素材としつつ、検討する。

第3回 共犯論（1）共犯の基本原則

共犯の意義、現行刑法における共犯の類型、正犯・共犯の立法形式などを概説したうえで、共犯従属性説と独立性説、行為共同説と犯罪共同説、因果共犯論と責任共犯論など、共犯の基礎理論や処罰根拠論を概説する。また、共犯の因果性につき幫助の因果性を中心に検討をおこなう。

第4回 共犯論（2）共犯の諸問題

共犯と身分、必要的共犯、承継的共犯、片面的共犯、過失の共同正犯、共犯と中止・離脱など、共犯の諸問題を検討する。

第5回 共犯論（3）正犯と共犯

正犯と（狭義の）共犯の区別基準、間接正犯、共謀共同正犯などを、判例事案を素材にしなが、検討する。

第6回 罪数

罪数の諸類型・概念を概説し、問題点を、判例事案を資料にしなが、検討する。

第7回 刑法の適用範囲

刑法の時間的適用範囲、場所的適用範囲（国外犯）など、刑法の実際の適用に関わる問題を考察検討する。

第8回 財産犯総論

財産犯の分類・区別、財物の意義、不法領得の意思、権利行使と財産犯、不法原因給付と財産犯などについて、概説する。

第9回 窃盗の罪

窃盗罪について、財物概念、本権説・占有説、占有の判断基準、死者の占有、不法領得の意思、未遂・既遂時期などの諸問題を検討する。

第10回 強盗の罪①

強盗罪について、手段たる暴行・脅迫の意義、暴行・脅迫と財物の奪取、2項強盗における処分行為の要否、強盗致死傷罪（240条）の成立要件などを概説し、さらに事後強盗罪における「窃盗の機会」、強盗致死傷罪における「強盗の機会」、240条と故意ある場合、犯行抑圧後に財物奪取意思を生じた場合、事後強盗の未遂および予備などの諸問題を検討する。

第11回 強盗の罪②

ひきつづき、同上の概説・検討をおこなう。

第12回 詐欺・恐喝の罪

詐欺罪・恐喝罪の基本的要件について概説し、詐欺罪における財産的損害、処分行為・処分意思、不法原因給付と詐欺罪、権利行使と恐喝罪、キセル乗車・自己名義のクレジットカードの不正使用・訴訟詐欺と詐欺罪、誤振込みと詐欺罪の成否などの諸問題について検討する。

第13回 横領・背任の罪①

横領罪については、横領（行為）の法的性質、共犯・身分と横領罪の成否、不動産の2重売買・横領後の横領などの横領罪の特殊問題、不法原因給付物の処分行為と横領罪の成否を中心に概説し、背任罪については、その罪質・成立要件、横領罪と背任罪の区別、2重抵当などの背任罪の特殊問題などについて概説する。

第14回 横領・背任の罪②

ひきつづき、同上の概説・検討をおこなう。

第15回 定期試験

<教科書>

- (1) 西田典之『刑法総論 第2版』（弘文堂、2010年）
- (2) 西田典之・山口厚・佐伯仁志『判例刑法総論 [第5版]』（有斐閣、2009年）
- (3) 川端博『刑法各論講義 第2版』（成文堂、2010年）
- (4) なお、毎回の授業に際して、事前に「配布資料」をTKCで添付しておくので、これも参照のこと。

<参考書>

- (1) 西田典之・山口厚・佐伯仁志（編）『別冊ジュリスト 刑法判例百選Ⅰ 総論 [第6版]』（有斐閣、2008年）
- (2) 西田典之・山口厚・佐伯仁志（編）『ジュリスト増刊 刑法の争点』（有斐閣、2007年）
- (3) 西田典之・山口厚・佐伯仁志（編）『別冊ジュリスト 刑法判例百選Ⅱ 各論 [第6版]』（有斐閣、2008年）